

## 第 178号 内容紹介

### 1, 談話「トランプ政権の野蛮な植民地帝国主義に反対する」

ガザの「領有」とパレスチナ人「排除」プランを表明したトランプ大統領。「法の支配や民主主義」の看板を投げ捨てて、力による圧力と脅迫を武器にした政策の危険性を告発する。

### 2, 田中靖宏「トランプ政権のアメリカをどうみるか」

1月28日開かれた国際情勢検討会への報告と意見交換の内容。アメリカの国力衰退の中で現れた危険な帝国主義と「同盟国」政策。保守層のなかにここままアメリカ追従でいいのかという疑念が生まれている。

### 3. 谷本盛光「書評 廃絶への道を阻む障壁との格闘」

アレクサンダー・クメント著『核兵器禁止条約―「人道イニシアティブ」という歩み』には、条約成立を主導したオーストリアの外交官がさまざまな妨害とたたかう外交の歩みが活写されている。

### 4、小松崎榮「ウクライナ支援と国連憲章を基本として真の解決をめざせ」

武力侵略したロシアは、「即時停戦」どころか、侵略の目的（ウクライナはロシア領土だとして、ロシアの属国化―ロシアに都合の良い政権の樹立等）のために、侵略行動を継続、エスカレートさせている。

### 5, 冷戦ノー委員会「NATOのウクライナへの無益な試みをやめさせよう」

グローバルサウス諸国は最初からアメリカの紛争政策に反対していた。最近ではNATO諸国にも変化がでている。アメリカが押し付けた戦争を早く終わらせるべきだ。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala\\_newsの編集日記 \(livedoo na 愛用紹介 r.jp\)](#))